

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2008年6月調査）

2008年7月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2008年4～6月の実績と2008年7～9月の見通しを6月中旬時点でうかがったものであり、1,079社からご協力をいただき、回答率は43.2%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

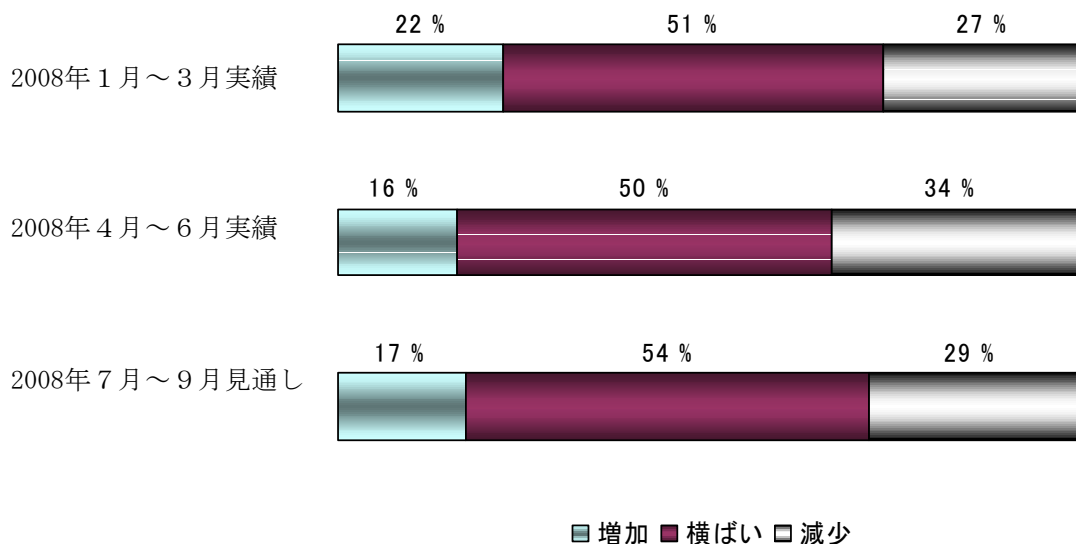
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	101	43.5
	織 維 ・ 衣 服	111	47	42.3
	木 材 ・ 家 具	96	47	49.0
	パ ル プ ・ 紙	107	49	45.8
	化学・プラスチック	238	118	49.6
	窯 業 ・ 土 石	102	41	40.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	196	101	51.5
	金 属 製 品	128	56	43.8
	一 般 機 械	222	101	45.5
	電 気 機 械	333	137	41.1
	輸 送 用 機 械	250	91	36.4
	精 密 機 械	67	26	38.8
	そ の 他	167	59	35.3
計		2,249	974	43.3
卸 売 業	生 産 財	124	52	41.9
	消 費 財	127	53	41.7
	計	251	105	41.8
合 計		2,500	1,079	43.2

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

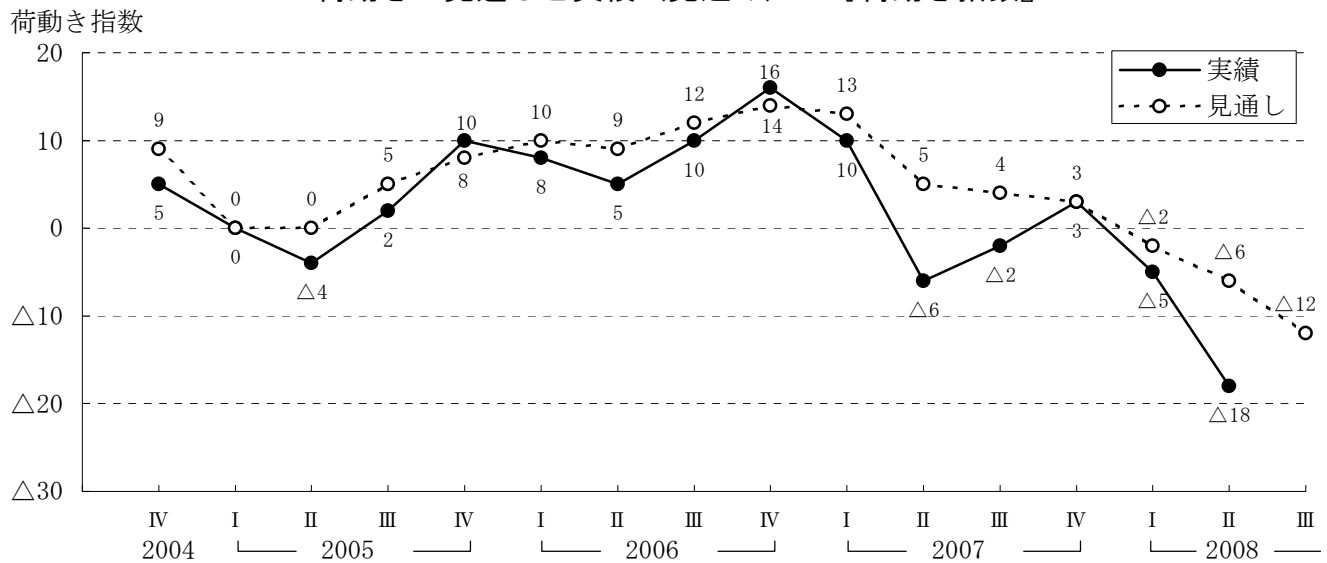
- 4～6月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（1～3月）実績より6ポイント低下し16%となった。一方、「減少」との回答は前期より7ポイント上昇し34%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は13ポイント低下して△18となった。
- 7～9月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（4～6月）実績（見込み）からは強含み横ばいで17%となり、「減少」との回答は5ポイント低下し29%になる。この結果『荷動き指数』は前期より6ポイント上昇して△12と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2007年10～12月実績で『荷動き指数』がいったんはプラスに反転したものの、2008年1～3月実績では再び水面下に沈み、2008年4～6月実績（見込み）ではマイナス幅がさらに拡大して△18まで落ち込んだ。2008年7～9月見通しでは『荷動き指数』の下げ止まりが見込まれるものの、引き続き2ケタのマイナスを示し、荷動きは減退基調が続く見通しである。

荷動きの見通しと実績（見込み）の『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2008年Ⅲ期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2008年Ⅱ期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

■ 4～6月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、すべての業種がマイナスを示し、しかも輸送用機械を除く残り14業種が2ケタのマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△18で、前期（1～3月）実績からは13ポイントの低下となった。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、輸送用機械がプラスに反転し、鉄鋼・非鉄でもマイナス幅が1ケタに縮小するが、残りの業種は依然として2ケタのマイナスを示す。この結果、業種全体の『荷動き指数』は△12と6ポイント上昇し、下げ止まりが期待されるものの、回復にはなお遠く、荷動きは引き続き減退の見通しである。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業 種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	100	19	51	30	△11	100	15	59	26	△11
繊維・衣服	45	18	49	33	△15	45	11	56	33	△22
木材・家具	47	11	38	51	△40	46	20	50	30	△10
パルプ・紙	48	17	52	31	△14	48	17	56	27	△10
化学・プラスチック	116	14	54	32	△18	114	13	61	26	△13
窯業・土石	40	12	58	30	△18	40	12	55	33	△21
鉄鋼・非鉄	98	14	56	30	△16	97	18	56	26	△8
金属製品	56	20	34	46	△26	56	23	43	34	△11
一般機械	101	14	48	38	△24	101	14	49	37	△23
電気機械	135	14	47	39	△25	135	18	52	30	△12
輸送用機械	90	20	58	22	△2	90	30	50	20	10
精密機械	25	12	52	36	△24	25	12	60	28	△16
その他	59	13	58	29	△16	59	15	53	32	△17
計	960	15	51	34	△19	956	17	54	29	△12
卸売業										
生産財	49	16	43	41	△25	48	8	57	35	△27
消費財	53	17	55	28	△11	53	11	63	26	△15
計	102	17	49	34	△17	101	10	59	31	△21
合計	1,062	16	50	34	△18	1,057	17	54	29	△12

■ 4～6月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、すべての地域がマイナスを示し、北海道および中国が1ケタのマイナスにとどまる以外は、2ケタのマイナスとなった。とりわけ、北陸・信越、東海、関東で荷動きの減退圧力が大きい。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでも、引き続きすべての地域がマイナスとなる。地域別には、北海道および中国では『荷動き指数』がさらに悪化し、荷動きの減退が続くとみられる。一方、東北、関東、東海などではマイナス幅の縮小が見込まれ、荷動きの減退圧力がやや緩和するものの、荷動きの回復には至らない。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

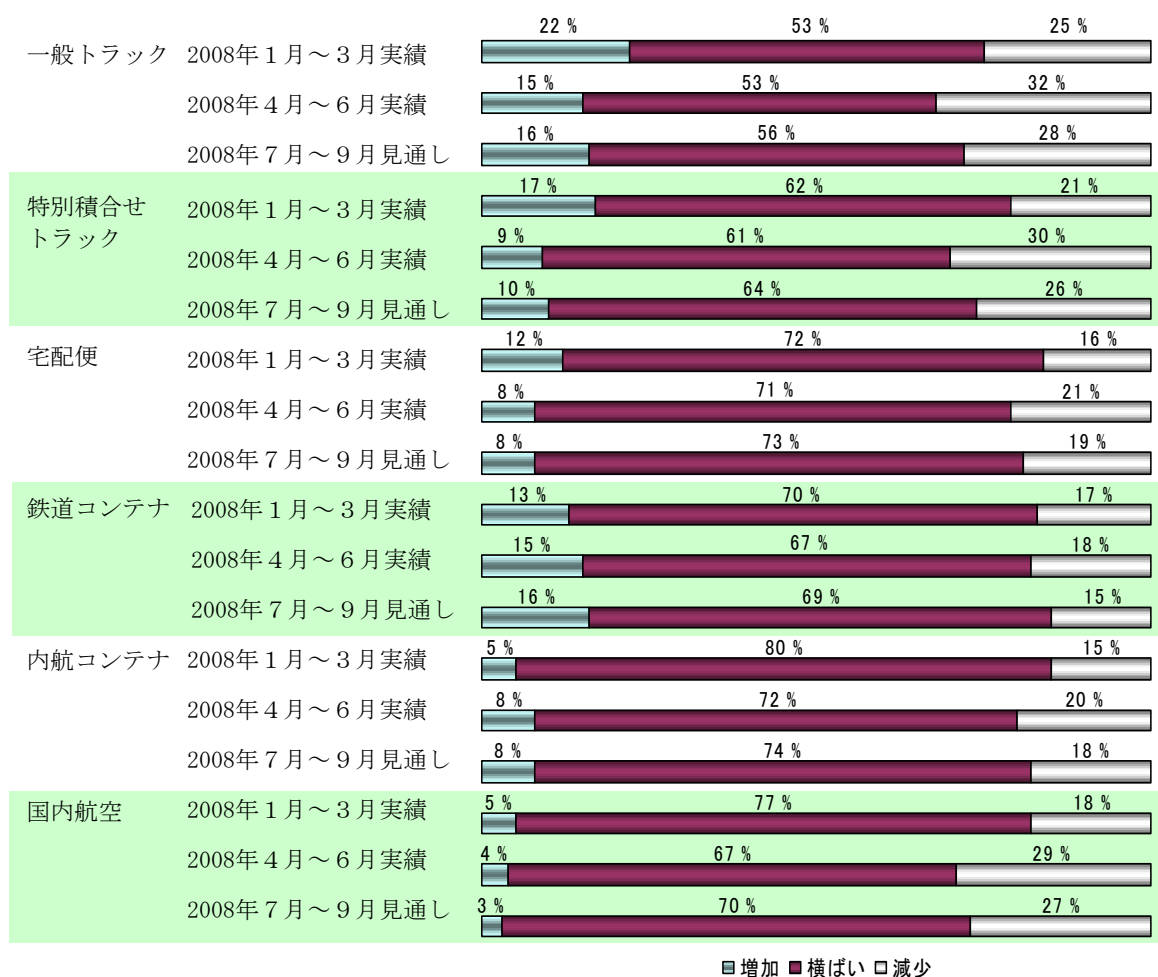
地 域	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	47	19	53	28	△ 9	45	15	58	27	△ 12
東 北	91	15	51	34	△ 19	91	19	56	25	△ 6
関 東	266	15	48	37	△ 22	264	20	49	31	△ 11
北 陸 ・ 信 越	119	13	48	39	△ 26	119	15	51	34	△ 19
東 海	136	15	47	38	△ 23	136	16	55	29	△ 13
近 畿	158	15	53	32	△ 17	157	17	55	28	△ 11
中 国	95	19	56	25	△ 6	95	15	60	25	△ 10
四 国	67	13	54	33	△ 20	67	12	55	33	△ 21
九 州 ・ 沖 縄	83	18	53	29	△ 11	83	16	60	24	△ 8
合 計	1,062	16	50	34	△ 18	1,057	17	54	29	△ 12

－ 2. 輸送機関利用の動向－

■ 4～6月の輸送機関利用の実績（見込み）をみると、すべての輸送機関で『利用動向指数』がマイナスを示し、前期（1～3月）実績との比較では、鉄道コンテナを除いてマイナス幅が拡大した。

■ 7～9月の見通しについては、鉄道コンテナでは『利用動向指数』が4ポイント上昇し水面上に浮上して、利用の下げ止まりが期待される。しかしながら、残りの輸送機関についてはいずれもマイナス幅の縮小が見込まれるものの、『利用動向指数』は引き続き2ケタのマイナスを示し、利用の減退が続く見通しである。

各輸送機関の利用の実績と見通し



(1) 一般トラック

■ 4～6月実績(見込み)の『利用動向指数』は、すべての業種がマイナスを示し、食料品・飲料など3業種を除いて残り12業種が2ケタのマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△17で、前期(1～3月)実績より14ポイント低下した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械がプラスに反転し、木材・家具など一部の業種ではマイナス幅の縮小が見込まれるものの、業種全体の『利用動向指数』は△12と5ポイントの改善にとどまる。このため、利用の削減が続く見通しである。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	99	17	58	25	△8	97	13	62	25	△12
	繊維・衣服	38	18	50	32	△14	38	8	58	34	△26
	木材・家具	46	11	35	54	△43	44	18	48	34	△16
	パルプ・紙	48	19	50	31	△12	48	17	56	27	△10
	化学・プラスチック	114	12	57	31	△19	114	12	61	27	△15
	窯業・土石	39	13	59	28	△15	38	11	55	34	△23
	鉄鋼・非鉄	98	14	52	34	△20	96	18	49	33	△15
	金属製品	53	15	47	38	△23	51	20	53	27	△7
	一般機械	93	17	48	35	△18	93	18	52	30	△12
	電気機械	126	12	48	40	△28	126	14	55	31	△17
輸送用機械	87	18	62	20	△2	87	29	52	19	10	
精密機械	24	13	58	29	△16	24	12	63	25	△13	
その他	55	12	64	24	△12	55	13	65	22	△9	
計	920	15	53	32	△17	911	16	56	28	△12	
卸売業	生産財	45	16	44	40	△24	45	9	60	31	△22
	消費財	47	21	53	26	△5	46	13	63	24	△11
	計	92	18	49	33	△15	91	11	62	27	△16
合計	1,012	15	53	32	△17	1,002	16	56	28	△12	

(2) 特別積合せトラック

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種がマイナスで、輸送用機械および消費財卸を除いて2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△21で、前期（1～3月）実績より17ポイントの大幅な低下となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、消費財卸がプラスに反転し、繊維・衣服、精密機械などではマイナス幅が縮小するが、大半の業種は引き続き2ケタのマイナスを示す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△16と、5ポイントの上昇が見込まれるものの、依然として荷動きの減退圧力は強く、回復に向けての動きは期待できない。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業 種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	62	15	58	27	△12	60	10	68	22	△12	
繊維・衣服	35	14	57	29	△15	35	17	57	26	△9	
木材・家具	30	10	50	40	△30	29	14	52	34	△20	
パルプ・紙	23	8	57	35	△27	23	9	65	26	△17	
化学・プラスチック	97	4	66	30	△26	97	6	67	27	△21	
窯業・土石	25	8	56	36	△28	25	4	64	32	△28	
鉄鋼・非鉄	61	5	69	26	△21	59	10	68	22	△12	
金属製品	38	3	58	39	△36	37	11	59	30	△19	
一般機械	78	15	57	28	△13	78	14	59	27	△13	
電気機械	101	8	54	38	△30	101	10	60	30	△20	
輸送用機械	65	9	76	15	△6	65	12	70	18	△6	
精密機械	18	16	56	28	△12	18	17	61	22	△5	
その他	45	4	72	24	△20	44	7	73	20	△13	
計	678	9	61	30	△21	671	10	64	26	△16	
卸売業	生産財	36	5	53	42	△37	36	5	56	39	△34
	消費財	35	14	69	17	△3	35	17	69	14	3
	計	71	9	61	30	△21	71	11	62	27	△16
合計	749	9	61	30	△21	742	10	64	26	△16	

(3) 宅配便

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種がマイナスを示したが、製造業と卸売業を比べると、総じて製造業で大幅なマイナスが目立つ。業種全体の『利用動向指数』は△13で、前期（1～3月）実績からは9ポイントの低下となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでも、引き続きすべての業種がマイナスを示す。製造業では過半数の業種でマイナス幅の縮小が期待されるが、卸売業では『利用動向指数』が低下しよう。業種全体の『利用動向指数』は△11と小幅の改善が見込まれるものの、荷動きの停滞が続く見通しである。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	71	6	80	14	△8	68	6	81	13	△7
	繊維・衣服	36	17	64	19	△2	36	8	75	17	△9
	木材・家具	35	9	57	34	△25	35	11	60	29	△18
	パルプ・紙	28	7	72	21	△14	28	11	68	21	△10
	化学・プラスチック	96	6	79	15	△9	96	5	81	14	△9
	窯業・土石	25	0	76	24	△24	25	4	84	12	△8
	鉄鋼・非鉄	66	3	74	23	△20	65	8	72	20	△12
	金属製品	50	8	58	34	△26	49	10	59	31	△21
	一般機械	94	12	65	23	△11	94	13	68	19	△6
	電気機械	120	8	64	28	△20	120	9	65	26	△17
	輸送用機械	69	12	75	13	△1	68	11	71	18	△7
精密機械	26	12	65	23	△11	26	12	69	19	△7	
その他	46	2	81	17	△15	45	2	80	18	△16	
計	762	8	70	22	△14	755	8	72	20	△12	
卸売業	生産財	42	14	69	17	△3	42	7	76	17	△10
	消費財	37	10	76	14	△4	37	5	81	14	△9
	計	79	13	72	15	△2	79	6	79	15	△9
合計	841	8	71	21	△13	834	8	73	19	△11	

(4) 鉄道コンテナ

- 4～6 月実績（見込み）の『利用動向指数』は、鉄鋼・非鉄、食料品・飲料がプラス、パルプ・紙など 4 業種がゼロ水準で、残り 9 業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△3 で、前期（1～3 月）実績からは強含み横ばいで推移した。
- 7～9 月の『利用動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがプラスに上昇し、木材・家具および一般機械もゼロ水準まで戻すことなどにより、業種全体の『利用動向指数』は 4 ポイント上昇してプラス 1 となろう。この結果、他の輸送機関では軒並み『利用動向指数』がマイナスを示すなかで、唯一鉄道コンテナのみがプラスとなり、利用の下げ止まりが期待される。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業 種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	51	29	53	18	11	50	24	60	16	8
繊維・衣服	13	15	62	23	△ 8	13	8	77	15	△ 7
木材・家具	20	10	75	15	△ 5	20	15	70	15	0
パルプ・紙	29	17	66	17	0	29	14	72	14	0
化学・プラスチック	75	16	68	16	0	75	20	64	16	4
製 窯業・土石	16	12	63	25	△ 13	16	6	75	19	△ 13
造 鉄鋼・非鉄	35	23	74	3	20	34	26	71	3	23
業 金属製品	15	6	67	27	△ 21	15	6	67	27	△ 21
一般機械	33	9	70	21	△ 12	33	15	70	15	0
電気機械	41	7	64	29	△ 22	40	12	65	23	△ 11
輸送用機械	29	3	73	24	△ 21	29	10	76	14	△ 4
精密機械	7	0	71	29	△ 29	7	14	57	29	△ 15
その他	27	15	70	15	0	27	15	70	15	0
計	391	15	66	19	△ 4	388	16	68	16	0
卸 生産財	14	7	79	14	△ 7	13	8	77	15	△ 7
売 消費財	13	15	70	15	0	13	8	84	8	0
業 計	27	11	74	15	△ 4	26	7	81	12	△ 5
合計	418	15	67	18	△ 3	414	16	69	15	1

(5) 内航コンテナ

- 4～6 月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料、窯業・土石、化学・プラスチックの 3 業種がプラスを示すほかは、残り 12 業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△12 で、前期（1～3 月）実績からは小幅の悪化となった。
- 7～9 月の『利用動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄がプラスに反転し、繊維・衣服および輸送用機械もゼロ水準まで戻すものの、業種全体の『利用動向指数』は△10 と小幅の改善にとどまる。このため、依然として荷動きの回復は期待できない。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業 種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	26	23	65	12	11	25	20	72	8	12
	繊維・衣服	9	0	89	11	△ 11	9	0	100	0	0
	木材・家具	14	0	50	50	△ 50	14	0	50	50	△ 50
	パルプ・紙	17	5	71	24	△ 19	17	5	71	24	△ 19
	化学・プラスチック	44	16	73	11	5	44	14	77	9	5
	窯業・土石	10	20	70	10	10	10	10	90	0	10
	鉄鋼・非鉄	24	0	96	4	△ 4	24	4	96	0	4
	金属製品	13	8	77	15	△ 7	13	8	69	23	△ 15
	一般機械	25	4	72	24	△ 20	25	12	68	20	△ 8
	電気機械	32	3	56	41	△ 38	32	6	60	34	△ 28
	輸送用機械	24	4	75	21	△ 17	23	13	74	13	0
	精密機械	6	0	67	33	△ 33	6	0	67	33	△ 33
	その他	21	5	76	19	△ 14	21	10	71	19	△ 9
計	265	8	72	20	△ 12	263	10	73	17	△ 7	
卸 売 業	生産財	11	9	73	18	△ 9	11	0	73	27	△ 27
	消費財	11	0	82	18	△ 18	11	0	82	18	△ 18
	計	22	5	77	18	△ 13	22	0	77	23	△ 23
合計	287	8	72	20	△ 12	285	8	74	18	△ 10	

(6) 国内航空

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具が唯一プラスを示す以外は、残りすべての業種がマイナスとなり、化学・プラスチックを除く13業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△25で、前期（1～3月）実績より12ポイント低下した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、引き続き木材・家具が唯一プラスで、残りの業種はすべてマイナスを示す。業種全体の『利用動向指数』は△24と強含み横ばいでの推移が見込まれる。この結果、国内航空は他の輸送機関に比べて『利用動向指数』がもっとも低い水準にとどまり、大幅な荷動きの減退が続く見通しである。

国内航空利用の実績と見通し

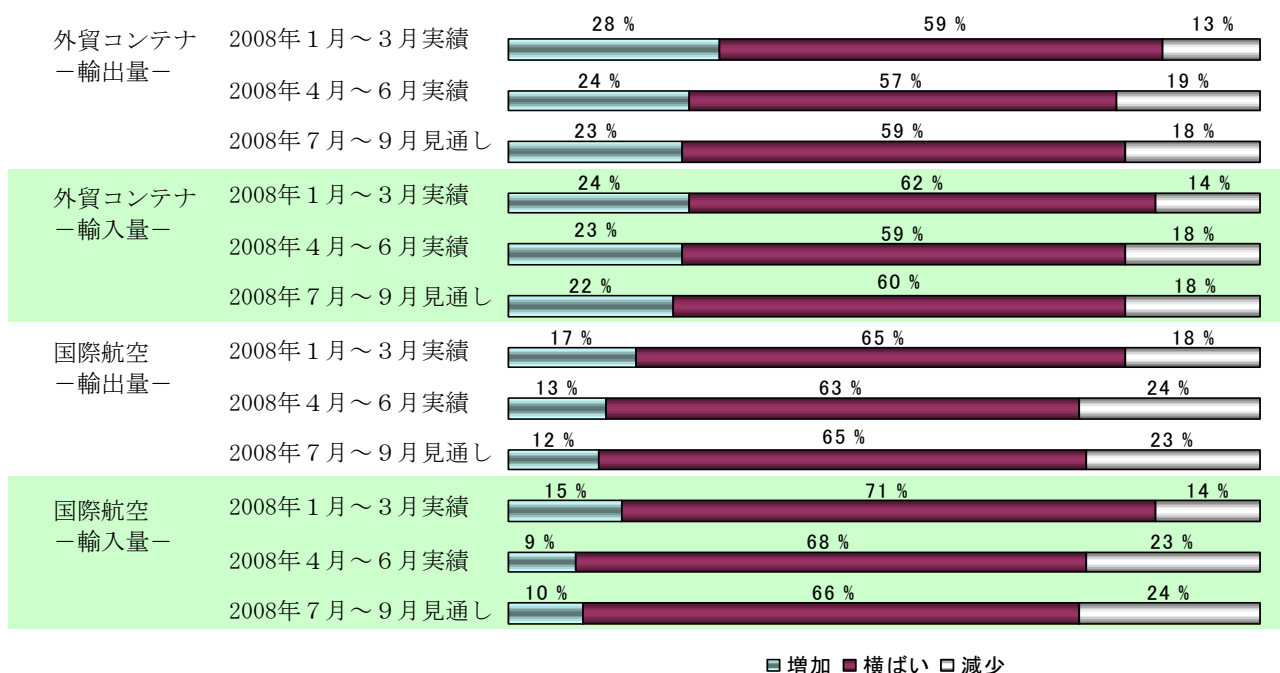
業種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	25	4	76	20	△16	24	0	79	21	△21	
繊維・衣服	9	11	67	22	△11	9	0	89	11	△11	
木材・家具	12	25	67	8	17	12	17	75	8	9	
パルプ・紙	2	0	50	50	△50	2	0	50	50	△50	
化学・プラスチック	31	3	87	10	△7	31	0	90	10	△10	
窯業・土石	10	0	70	30	△30	10	0	80	20	△20	
鉄鋼・非鉄	23	9	61	30	△21	23	9	61	30	△21	
金属製品	17	18	47	35	△17	17	18	41	41	△23	
一般機械	58	0	62	38	△38	58	3	64	33	△30	
電気機械	72	1	63	36	△35	72	0	67	33	△33	
輸送用機械	30	3	77	20	△17	30	3	84	13	△10	
精密機械	14	7	64	29	△22	14	7	64	29	△22	
その他	24	4	63	33	△29	24	4	58	38	△34	
計	327	4	67	29	△25	326	3	70	27	△24	
卸売業	生産財	16	0	75	25	△25	15	0	80	20	△20
	消費財	13	0	69	31	△31	13	0	62	38	△38
	計	29	0	72	28	△28	28	0	71	29	△29
合計		356	4	67	29	△25	354	3	70	27	△24

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 4～6 月実績（見込み）における輸出入貨物量の動向をみると、外貿コンテナでは輸出入とも『荷動き指数』はプラスを維持したが、前期（1～3 月）実績よりプラス幅が縮小し、1 ケタ台まで下降した。国際航空についても輸出入とも『荷動き指数』が前期（1～3 月）実績より悪化し、2 ケタのマイナスとなった。

■ 7～9 月の見通しについては、外貿コンテナ、国際航空とも『荷動き指数』は概ね横ばいで推移し、外貿コンテナでは輸出入とも 1 ケタのプラス、国際航空では輸出入とも 2 ケタのマイナスが続くとみられる。この結果、外貿コンテナでは、長らく続いた荷動き拡大の動きに、ここへきて減速感が窺える。国際航空については、荷動きの減退が続く見通しである。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貨コンテナ ー輸出ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、全15業種中過半数の8業種がプラスを示し、金属製品および精密機械がゼロ水準、化学・プラスチック、消費財卸など5業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』はプラス5で、前期（1～3月）実績からは10ポイントの低下がみられた。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、電気機械がプラスに反転し、消費財卸もゼロ水準まで戻す一方、生産財卸が水面まで下降するなど、業種によるバラツキはみられるが、業種全体の『荷動き指数』は横ばいでの推移が見込まれる。このため、引き続き荷動きは拡大が見込まれるものの、その勢いは弱まり、先行きに不透明感が窺える。

外貨コンテナによる輸出量の実績と見通し

業 種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	16	12	63	25	△13	16	6	63	31	△25	
繊維・衣服	12	8	75	17	△9	12	8	75	17	△9	
木材・家具	9	33	56	11	22	9	22	67	11	11	
パルプ・紙	17	41	47	12	29	17	41	47	12	29	
化学・プラスチック	61	14	56	30	△16	61	15	57	28	△13	
窯業・土石	20	35	50	15	20	19	37	47	16	21	
鉄鋼・非鉄	44	23	70	7	16	44	16	73	11	5	
金属製品	15	27	46	27	0	15	33	33	33	0	
一般機械	60	28	59	13	15	60	28	60	12	16	
電気機械	64	20	58	22	△2	64	23	60	17	6	
輸送用機械	46	30	50	20	10	46	28	52	20	8	
精密機械	16	25	50	25	0	16	31	44	25	6	
その他	29	28	55	17	11	29	28	66	6	22	
計	409	24	57	19	5	408	24	58	18	6	
卸売業	生産財	9	22	67	11	11	9	11	78	11	0
	消費財	7	14	57	29	△15	7	14	72	14	0
	計	16	19	62	19	0	16	13	74	13	0
合計	425	24	57	19	5	424	23	59	18	5	

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、食料品・飲料など4業種がマイナス、木材・家具がゼロ水準で、残り10業種がプラスを示した。業種全体の『荷動き指数』はプラス5で、前期（1～3月）実績からは5ポイント低下した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、繊維・衣服、木材・家具、パルプ・紙、化学・プラスチックがマイナスに落ち込む一方、金属製品、消費財卸などではマイナス幅の縮小が見込まれるなど、業種によるバラツキがみられるが、業種全体の『荷動き指数』はプラス4と弱含み横ばいで推移しよう。このため、輸出同様、荷動きの拡大が続くものの、先行きについては不透明感が窺える。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	16	12	44	44	△ 32	16	18	38	44	△ 26
繊維・衣服	16	25	63	12	13	16	12	69	19	△ 7
木材・家具	17	29	42	29	0	17	18	47	35	△ 17
パルプ・紙	8	12	88	0	12	8	0	88	12	△ 12
化学・プラスチック	58	16	71	13	3	58	12	67	21	△ 9
製 窯業・土石	18	28	56	16	12	17	29	53	18	11
造 鉄鋼・非鉄	33	18	67	15	3	33	21	58	21	0
業 金属製品	15	6	67	27	△ 21	15	7	80	13	△ 6
一般機械	52	29	58	13	16	51	27	57	16	11
電気機械	61	21	61	18	3	61	23	62	15	8
輸送用機械	45	38	47	15	23	45	33	54	13	20
精密機械	14	28	36	36	△ 8	14	28	36	36	△ 8
その他	27	30	67	3	27	27	33	63	4	29
計	380	24	59	17	7	378	22	59	19	3
卸 生産財	11	27	55	18	9	11	27	55	18	9
売 消費財	15	13	54	33	△ 20	15	7	80	13	△ 6
業 計	26	19	54	27	△ 8	26	15	70	15	0
合計	406	23	59	18	5	404	22	60	18	4

(3) 国際航空 ー輸出ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、パルプ・紙、金属製品、輸送用機械の3業種がプラス、木材・家具がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△11で、前期（1～3月）実績からは10ポイント低下した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに反転する以外は大きな動意はみられず、業種全体の『荷動き指数』は横ばいでの推移が見込まれる。このため、荷動きは減退が続く見通しである。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業 種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	8	0	75	25	△ 25	8	0	75	25	△ 25	
繊維・衣服	7	0	86	14	△ 14	7	0	86	14	△ 14	
木材・家具	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0	
パルプ・紙	2	50	50	0	50	2	0	100	0	0	
化学・プラスチック	32	0	88	12	△ 12	31	0	87	13	△ 13	
窯業・土石	11	0	82	18	△ 18	11	9	64	27	△ 18	
鉄鋼・非鉄	26	11	62	27	△ 16	26	15	58	27	△ 12	
金属製品	13	23	62	15	8	13	31	46	23	8	
一般機械	63	12	59	29	△ 17	63	6	67	27	△ 21	
電気機械	79	18	53	29	△ 11	79	19	56	25	△ 6	
輸送用機械	41	24	59	17	7	41	22	54	24	△ 2	
精密機械	21	19	38	43	△ 24	21	19	52	29	△ 10	
その他	24	8	79	13	△ 5	24	4	83	13	△ 9	
計	334	13	64	23	△ 10	333	12	65	23	△ 11	
卸売業	生産財	7	14	43	43	△ 29	7	14	43	43	△ 29
	消費財	7	14	57	29	△ 15	7	0	71	29	△ 29
	計	14	14	50	36	△ 22	14	7	57	36	△ 29
合計	348	13	63	24	△ 11	347	12	65	23	△ 11	

(4) 国際航空 —輸入—

■ 4～6 月実績（見込み）の『荷動き指数』は、金属製品および輸送用機械の 2 業種がプラス、木材・家具およびパルプ・紙がゼロ水準で、残り 11 業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△14 で、前期（1～3 月）実績からは 15 ポイントの低下となった。

■ 7～9 月の『荷動き指数』見通しでは、木材・家具や金属製品などを除いて大きな動意はみられず、業種全体の『荷動き指数』は横ばいで推移しよう。このため、引き続き荷動きは減退の見込みである。

国際航空による輸入量の実績と見通し

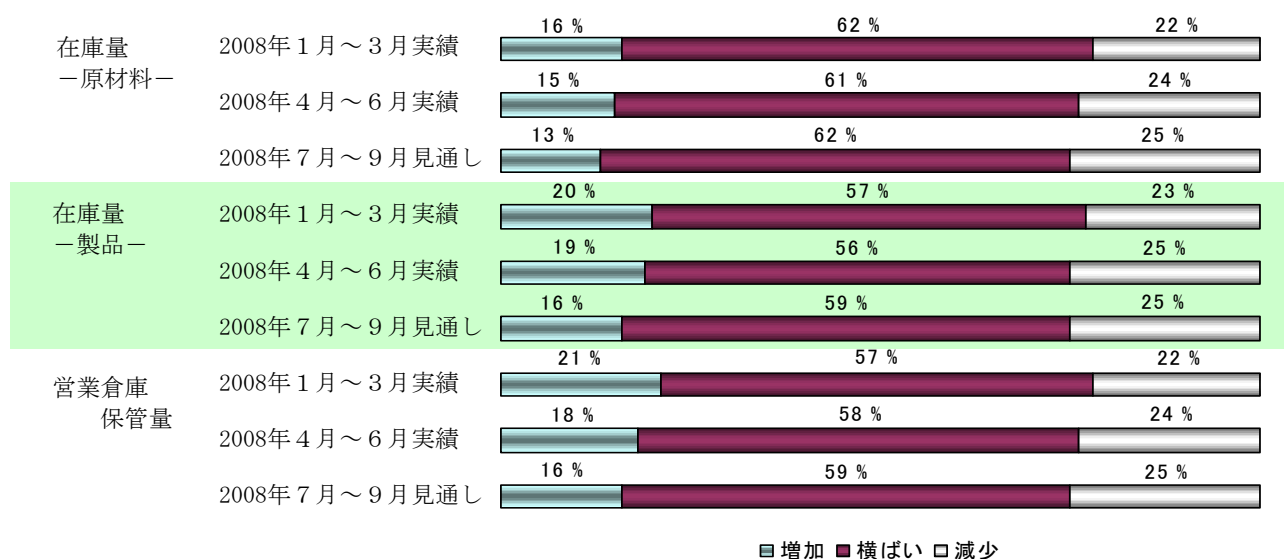
業 種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	8	0	63	37	△ 37	8	0	63	37	△ 37	
繊維・衣服	8	0	75	25	△ 25	8	0	75	25	△ 25	
木材・家具	7	0	100	0	0	7	0	86	14	△ 14	
パルプ・紙	2	0	100	0	0	2	0	100	0	0	
化学・プラスチック	30	7	73	20	△ 13	30	0	80	20	△ 20	
窯業・土石	9	0	89	11	△ 11	9	0	78	22	△ 22	
鉄鋼・非鉄	23	13	57	30	△ 17	23	17	53	30	△ 13	
金属製品	10	10	90	0	10	10	10	80	10	0	
一般機械	48	2	71	27	△ 25	48	4	69	27	△ 23	
電気機械	67	15	57	28	△ 13	67	16	57	27	△ 11	
輸送用機械	39	18	72	10	8	39	23	62	15	8	
精密機械	19	21	42	37	△ 16	19	21	47	32	△ 11	
その他	22	0	77	23	△ 23	22	0	77	23	△ 23	
計	292	10	67	23	△ 13	292	11	65	24	△ 13	
卸売業	生産財	8	12	63	25	△ 13	8	12	63	25	△ 13
	消費財	7	0	71	29	△ 29	7	0	71	29	△ 29
	計	15	6	67	27	△ 21	15	6	67	27	△ 21
合計	307	9	68	23	△ 14	307	10	66	24	△ 14	

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 4～6月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫利用の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫利用とも『動向指数』はマイナスを示した。前期（1～3月）実績からは、いずれもマイナス幅が拡大した。

■ 7～9月の見通しでは、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫利用とも引き続き『動向指数』はマイナスで、いずれもマイナス幅がさらに拡大する。このため、在庫圧縮および営業倉庫利用削減の圧力が強まる見通しである。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、精密機械およびパルプ・紙の2業種がプラスで、残り13業種はすべてマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△9で、前期（1～3月）実績からは3ポイントの低下がみられた。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、パルプ・紙がゼロ水準に下降し、プラス業種は精密機械のみとなる。業種全体の『在庫動向指数』は△12とさらに3ポイント悪化する見込みで、原材料在庫の圧縮圧力が強まる見通しである。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	82	17	57	26	△9	82	9	62	29	△20
	繊維・衣服	37	16	57	27	△11	37	8	65	27	△19
	木材・家具	41	12	56	32	△20	41	12	64	24	△12
	パルプ・紙	43	21	72	7	14	43	14	72	14	0
	化学・プラスチック	108	10	73	17	△7	107	11	72	17	△6
	窯業・土石	34	18	50	32	△14	34	21	50	29	△8
	鉄鋼・非鉄	94	11	67	22	△11	94	10	64	26	△16
	金属製品	51	16	43	41	△25	51	14	45	41	△27
	一般機械	93	21	55	24	△3	93	20	55	25	△5
	電気機械	107	12	66	22	△10	107	10	68	22	△12
	輸送用機械	81	12	65	23	△11	81	14	56	30	△16
	精密機械	23	35	48	17	18	23	35	43	22	13
	その他	53	15	68	17	△2	53	15	66	19	△4
計	847	15	62	23	△8	846	13	62	25	△12	
卸売業	生産財	28	10	61	29	△19	27	7	71	22	△15
	消費財	28	18	46	36	△18	28	11	64	25	△14
	計	56	14	54	32	△18	55	9	67	24	△15
合計	903	15	61	24	△9	901	13	62	25	△12	

(2) 在庫量 —製品—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、パルプ・紙など3業種がプラスで、その他の製造業および消費財卸がゼロ水準、残り10業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△6で、前期（1～3月）実績より3ポイント低下した。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、化学・プラスチックおよび消費財卸がマイナスに沈み、業種全体の『在庫動向指数』は△9とさらに3ポイント低下しよう。このため、製品在庫は削減の圧力が強まる見通しである。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	87	20	54	26	△6	86	12	64	24	△12	
繊維・衣服	41	20	56	24	△4	40	7	68	25	△18	
木材・家具	42	19	48	33	△14	42	17	57	26	△9	
パルプ・紙	44	25	68	7	18	45	18	71	11	7	
化学・プラスチック	114	22	57	21	1	113	20	58	22	△2	
窯業・土石	35	14	43	43	△29	35	17	43	40	△23	
鉄鋼・非鉄	96	12	64	24	△12	96	10	60	30	△20	
金属製品	51	16	39	45	△29	51	10	47	43	△33	
一般機械	91	23	48	29	△6	91	23	50	27	△4	
電気機械	120	17	64	19	△2	120	16	62	22	△6	
輸送用機械	81	12	68	20	△8	81	15	63	22	△7	
精密機械	22	41	27	32	9	22	36	41	23	13	
その他	55	22	56	22	0	55	18	64	18	0	
計	879	19	56	25	△6	877	16	59	25	△9	
卸売業	生産財	47	15	55	30	△15	47	10	62	28	△18
	消費財	42	21	58	21	0	42	14	65	21	△7
	計	89	18	56	26	△8	89	12	63	25	△13
合計	968	19	56	25	△6	966	16	59	25	△9	

(3) 営業倉庫保管量

■ 4～6月実績（見込み）の『保管動向指数』は、その他の製造業など6業種がプラス、金属製品など9業種がマイナスを示した。業種全体の『保管動向指数』は△6で、前期（1～3月）実績より5ポイント低下した。

■ 7～9月の『保管動向指数』見通しでは、食料品・飲料、一般機械、精密機械がマイナスに反転し、プラス業種はパルプ・紙など3業種にとどまる。業種全体の『保管動向指数』は△9とさらに3ポイント悪化する見込みで、営業倉庫保管量は削減圧力が強まるとみられる。

営業倉庫保管量の実績と見通し

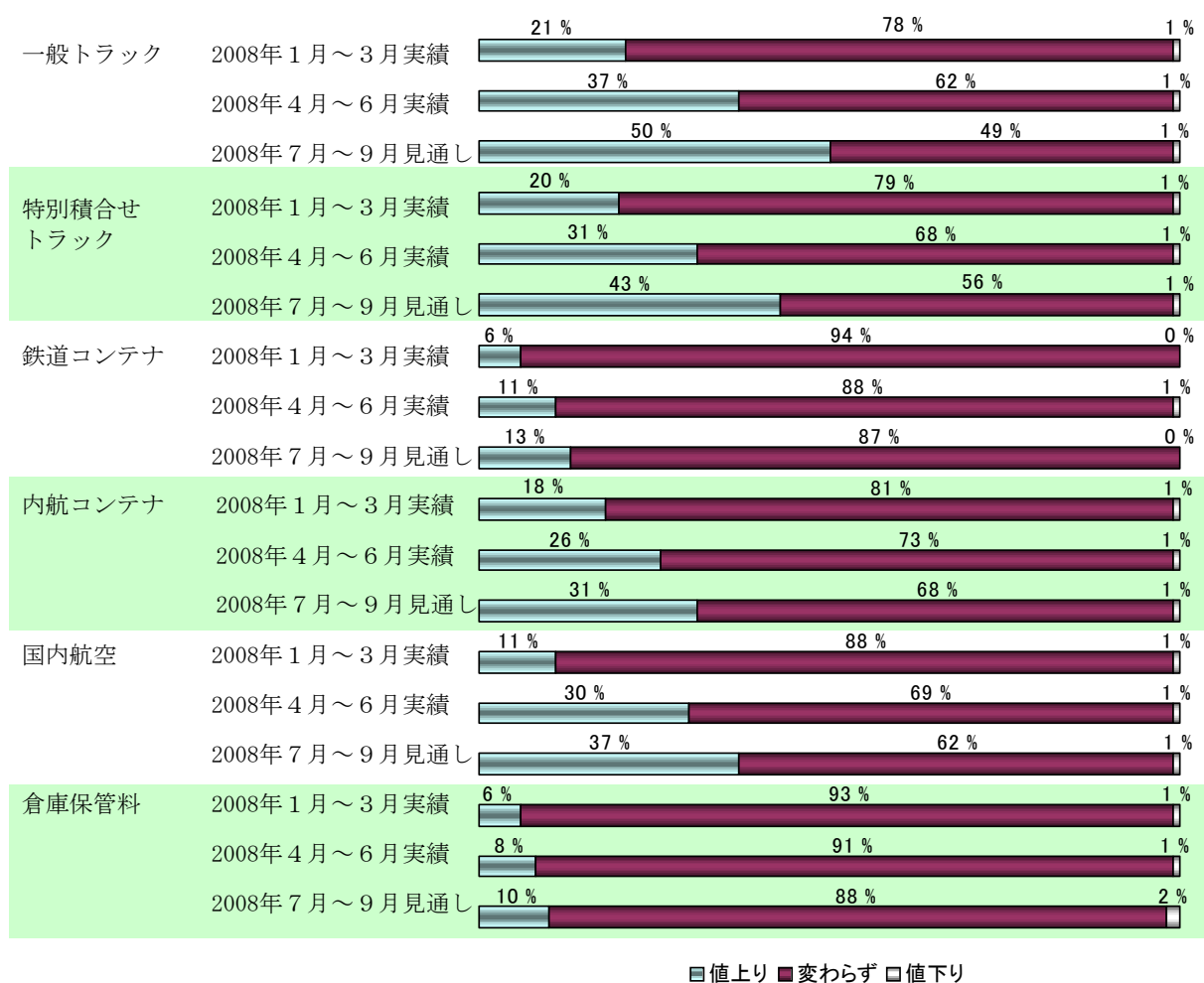
業 種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	72	24	56	20	4	72	16	63	21	△5	
繊維・衣服	22	13	55	32	△19	22	14	59	27	△13	
木材・家具	32	16	50	34	△18	32	13	56	31	△18	
パルプ・紙	39	18	74	8	10	39	21	69	10	11	
化学・プラスチック	96	22	59	19	3	96	23	55	22	1	
窯業・土石	24	17	50	33	△16	24	8	59	33	△25	
鉄鋼・非鉄	61	14	61	25	△11	61	13	67	20	△7	
金属製品	31	16	35	49	△33	31	6	52	42	△36	
一般機械	65	25	54	21	4	65	18	59	23	△5	
電気機械	84	18	56	26	△8	84	13	60	27	△14	
輸送用機械	56	16	66	18	△2	55	22	51	27	△5	
精密機械	17	29	47	24	5	17	24	47	29	△5	
その他	41	32	54	14	18	41	24	61	15	9	
計	640	20	57	23	△3	639	17	59	24	△7	
卸売業	生産財	35	8	63	29	△21	34	6	65	29	△23
	消費財	39	5	69	26	△21	38	7	61	32	△25
	計	74	7	66	27	△20	72	6	63	31	△25
合計	714	18	58	24	△6	711	16	59	25	△9	

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 4～6月の運賃・料金水準の『動向指数』実績（見込み）は、すべての機関がプラスで、倉庫保管料を除いて2ケタのプラスを示した。前期（1～3月）実績との比較では、いずれの機関でも『動向指数』が上昇した。

■ 7～9月の『動向指数』見通しについては、すべての機関で上昇が見込まれ、各機関とも運賃・料金水準の上昇圧力はいっそう強まろう。とくに、一般トラックおよび特別積合せトラックでは、プラス幅がさらに拡大しており、運賃水準の上昇圧力は一段と強まる見通しである。

運賃・料金の実績と見通し



(1) 一般トラック運賃

- 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、すべての業種が2ケタのプラスを示した。業種全体の『運賃動向指数』はプラス36で、前期（1～3月）実績より16ポイント上昇した。
- 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、すべての業種でプラス幅が拡大し、業種全体の『運賃動向指数』はさらに13ポイント上昇してプラス49と見込まれる。この結果、一般トラック運賃は、すべての機関のなかでもっとも運賃水準の上昇圧力が強まる見通しである。

一般トラック運賃の実績と見通し

業 種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	99	37	61	2	35	99	51	45	4	47	
繊維・衣服	40	25	75	0	25	39	44	54	2	42	
木材・家具	45	44	56	0	44	45	62	38	0	62	
パルプ・紙	47	23	77	0	23	47	43	57	0	43	
化学・プラスチック	114	39	61	0	39	113	51	48	1	50	
製 造 業	窯業・土石	36	58	42	0	58	36	67	33	0	67
	鉄鋼・非鉄	97	51	48	1	50	97	57	43	0	57
	金属製品	52	27	73	0	27	52	38	62	0	38
	一般機械	92	30	70	0	30	90	48	52	0	48
	電気機械	124	30	69	1	29	123	47	53	0	47
	輸送用機械	85	47	53	0	47	85	53	47	0	53
	精密機械	23	26	70	4	22	22	32	64	4	28
	その他	54	35	63	2	33	54	48	48	4	44
	計	908	37	62	1	36	902	50	49	1	49
	卸 売 業	生産財	44	32	66	2	30	43	49	47	4
消費財		47	34	62	4	30	47	51	47	2	49
計		91	33	64	3	30	90	50	47	3	47
合計	999	37	62	1	36	992	50	49	1	49	

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、すべての業種が2ケタのプラスを示し、業種全体の『運賃動向指数』はプラス30となった。前期（1～3月）実績からは11ポイントの上昇がみられた。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、精密機械で下降が見込まれる以外は、残りすべての業種でプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は12ポイント上昇してプラス42となり、運賃水準にはいっそうの上昇が見込まれる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	64	34	66	0	34	64	44	53	3	41	
繊維・衣服	35	26	74	0	26	34	47	50	3	44	
木材・家具	28	29	71	0	29	28	54	46	0	54	
パルプ・紙	26	19	77	4	15	26	46	50	4	42	
化学・プラスチック	99	36	63	1	35	99	43	55	2	41	
窯業・土石	24	46	54	0	46	24	54	46	0	54	
鉄鋼・非鉄	60	37	62	1	36	60	48	52	0	48	
金属製品	36	14	86	0	14	36	28	72	0	28	
一般機械	77	30	70	0	30	77	40	60	0	40	
電気機械	100	28	72	0	28	100	43	57	0	43	
輸送用機械	64	42	58	0	42	64	52	48	0	52	
精密機械	16	19	75	6	13	15	13	80	7	6	
その他	44	36	62	2	34	44	41	55	4	37	
計	673	32	67	1	31	671	44	55	1	43	
卸売業	生産財	36	22	75	3	19	36	42	56	2	40
	消費財	35	20	80	0	20	35	40	60	0	40
	計	71	21	78	1	20	71	41	58	1	40
合計	744	31	68	1	30	742	43	56	1	42	

(3) 鉄道コンテナ運賃

- 4～6月実績(見込み)の『運賃動向指数』は、精密機械が唯一マイナスを示し、繊維・衣服、窯業・土石など4業種がゼロ水準で、残り10業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス10で、前期(1～3月)実績より4ポイントの上昇がみられた。
- 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、窯業・土石がプラスに上昇することなどにより、業種全体の『運賃動向指数』はプラス13と3ポイントの上昇が見込まれる。このため、運賃水準は上昇が続く見通しである。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	49	12	86	2	10	49	10	90	0	10
	繊維・衣服	12	0	100	0	0	12	0	100	0	0
	木材・家具	19	11	89	0	11	19	21	79	0	21
	パルプ・紙	29	10	87	3	7	29	10	87	3	7
	化学・プラスチック	78	22	78	0	22	78	26	74	0	26
	窯業・土石	14	0	100	0	0	14	7	93	0	7
	鉄鋼・非鉄	28	7	93	0	7	28	11	89	0	11
	金属製品	17	18	82	0	18	17	18	82	0	18
	一般機械	28	4	96	0	4	27	7	93	0	7
	電気機械	42	5	95	0	5	41	7	93	0	7
	輸送用機械	27	22	78	0	22	27	26	74	0	26
	精密機械	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14
	その他	28	7	93	0	7	28	7	93	0	7
計	378	11	88	1	10	376	14	85	1	13	
卸売業	生産財	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
	消費財	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
	計	26	0	100	0	0	26	0	100	0	0
合計	404	11	88	1	10	402	13	87	0	13	

(4) 内航コンテナ運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、精密機械が唯一マイナスで、繊維・衣服など3業種がゼロ水準、残り11業種がプラスを示した。業種全体の『運賃動向指数』は、前期（1～3月）実績より8ポイント上昇してプラス25となった。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、金属製品および生産財卸がプラスに上昇して、全15業種中13業種がプラスを示す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は5ポイント上昇してプラス30と見込まれ、運賃水準はいつそう上昇する見通しである。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	27	41	59	0	41	27	37	63	0	37
	繊維・衣服	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
	木材・家具	14	36	64	0	36	14	43	57	0	43
	パルプ・紙	12	50	50	0	50	13	62	38	0	62
	化学・プラスチック	45	24	76	0	24	45	31	69	0	31
	窯業・土石	10	60	40	0	60	10	60	40	0	60
	鉄鋼・非鉄	21	33	67	0	33	21	33	67	0	33
	金属製品	13	0	100	0	0	13	8	92	0	8
	一般機械	22	27	73	0	27	22	36	64	0	36
	電気機械	29	10	90	0	10	29	17	83	0	17
	輸送用機械	20	20	80	0	20	20	25	75	0	25
精密機械	6	0	83	17	△17	6	0	83	17	△17	
その他	20	40	55	5	35	20	45	50	5	40	
計	245	27	72	1	26	246	32	67	1	31	
卸売業	生産財	10	0	100	0	0	10	10	90	0	10
	消費財	9	22	78	0	22	9	22	78	0	22
	計	19	11	89	0	11	19	16	84	0	16
合計	264	26	73	1	25	265	31	68	1	30	

(5) 国内航空運賃

- 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、マイナスを示す業種はなく、パルプ・紙が唯一ゼロ水準のほかは、残り14業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス29で、前期（1～3月）実績からは19ポイントの上昇となった。
- 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、パルプ・紙もプラスに上昇して、すべての業種が2ケタのプラスを示す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はさらに7ポイント上昇してプラス36と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が強まる見通しである。

国内航空運賃の実績と見通し

業種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	25	28	72	0	28	25	32	68	0	32
	繊維・衣服	8	12	88	0	12	8	37	63	0	37
	木材・家具	11	45	55	0	45	11	55	45	0	55
	パルプ・紙	2	0	100	0	0	2	50	50	0	50
	化学・プラスチック	30	23	77	0	23	30	23	77	0	23
	窯業・土石	10	50	50	0	50	10	60	40	0	60
	鉄鋼・非鉄	22	32	68	0	32	22	36	64	0	36
	金属製品	15	27	73	0	27	15	33	67	0	33
	一般機械	56	23	77	0	23	56	29	71	0	29
	電気機械	70	34	65	1	33	70	46	54	0	46
	輸送用機械	30	43	57	0	43	30	47	53	0	47
	精密機械	12	33	59	8	25	12	42	50	8	34
その他	22	32	68	0	32	22	41	59	0	41	
計	313	31	68	1	30	313	38	62	0	38	
卸売業	生産財	13	15	77	8	7	13	23	69	8	15
	消費財	12	17	83	0	17	12	33	67	0	33
	計	25	16	80	4	12	25	28	68	4	24
合計	338	30	69	1	29	338	37	62	1	36	

(6) 営業倉庫保管料金

■ 4～6月実績（見込み）の『料金動向指数』は、精密機械および生産財卸がマイナスで、残り13業種がプラスを示した。業種全体の『料金動向指数』はプラス7で、前期（1～3月）実績からは2ポイントの増加となった。

■ 7～9月の『料金動向指数』見通しでは、大きな動意はみられず、業種全体の『料金動向指数』も強含み横ばいでの推移が見込まれる。この結果、営業倉庫保管料金は、他の機関に比べれば上昇圧力は弱いものの、料金水準の上昇が続くとみられる。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	64	11	88	1	10	64	13	83	4	9	
繊維・衣服	17	12	88	0	12	17	18	82	0	18	
木材・家具	25	12	88	0	12	24	12	88	0	12	
パルプ・紙	34	15	85	0	15	34	12	88	0	12	
化学・プラスチック	87	10	87	3	7	87	15	83	2	13	
窯業・土石	19	5	95	0	5	19	16	84	0	16	
鉄鋼・非鉄	43	12	88	0	12	43	12	88	0	12	
金属製品	22	9	91	0	9	22	18	82	0	18	
一般機械	64	3	97	0	3	62	3	97	0	3	
電気機械	80	6	93	1	5	79	9	90	1	8	
輸送用機械	52	6	94	0	6	52	6	92	2	4	
精密機械	14	0	93	7	△7	14	0	93	7	△7	
その他	37	8	89	3	5	37	11	86	3	8	
計	558	8	91	1	7	554	11	88	1	10	
卸売業	生産財	29	0	97	3	△3	29	0	97	3	△3
	消費財	29	3	97	0	3	29	14	86	0	14
	計	58	2	96	2	0	58	7	91	2	5
合計	616	8	91	1	7	612	10	88	2	8	

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、4～6月実績（見込み）の『動向指数』はすべての業種が2ケタのプラスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス26で、前期（1～3月）実績からは10ポイント上昇した。

■ 7～9月の『動向指数』見通しでもすべての業種が2ケタのプラスを示し、大半の業種でプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『動向指数』はプラス36とさらに10ポイント上昇する見通しで、物流コスト割合はいつそうの拡大が見込まれる。

物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2008年4月～6月実績					2008年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
食 料 品 ・ 飲 料	101	44	47	9	35	101	55	38	7	48
繊 維 ・ 衣 服	46	22	74	4	18	46	35	57	8	27
木 材 ・ 家 具	45	49	38	13	36	45	56	40	4	52
パ ル プ ・ 紙	48	35	55	10	25	48	52	38	10	42
化学・プラスチック	115	33	64	3	30	114	46	50	4	42
製 窯 業 ・ 土 石	39	44	51	5	39	39	54	41	5	49
鉄 鋼 ・ 非 鉄	97	39	53	8	31	97	45	50	5	40
金 属 製 品	56	34	48	18	16	56	46	38	16	30
一 般 機 械	98	35	54	11	24	98	40	51	9	31
電 気 機 械	134	27	60	13	14	134	33	59	8	25
輸 送 用 機 械	87	36	54	10	26	87	45	45	10	35
精 密 機 械	25	28	56	16	12	25	36	56	8	28
そ の 他	57	39	56	5	34	57	40	53	7	33
計	948	35	56	9	26	947	44	48	8	36
卸 生 産 財	49	31	61	8	23	48	40	48	12	28
業 消 費 財	50	32	64	4	28	50	52	42	6	46
計	99	31	63	6	25	98	46	45	9	37
合 計	1,047	35	56	9	26	1,045	44	48	8	36